

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	理学療法評価学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	機能訓練室
担 当 教 員	山中彩葉	実務経験と その関連資格	8年間臨床勤務。学生指導や後輩指導も実施。			
《授業科目における学習内容》						
各評価の意義、目的を理解し、正確に実施することができる。必要な評価項目を想起することができる。 各評価手技の意義、目的、種類などを理解し、正確に実施することができる。 評価対象者の問題点の抽出を行うことができる。						
《成績評価の方法と基準》						
前期終了後の定期試験が 50% 、 実技試験が 50%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「理学療法評価学」 金原出版 松澤正・江口勝彦 著 「ベッドサイドの神経の診かた」 南山堂						
《授業外における学習方法》						
色んな相手と練習をしていくこと。 慣れてきたら、環境や色んな状態を想定して実施しておく、より臨床に即した知識・技術が身につくと思います。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床に直結する内容になります。周りと協力をしながら身につけてください。 お互いに検査し合い、相手が不快にならないようにフィードバックすることも練習になります。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	なぜ評価が必要なのかを説明できる		教科書		
	各コマに おける 授業予定	オリエンテーション、評価学総論				
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	伝道路についてのおさらいができる		教科書	予習: 脊髄の解剖、伝 道路について	
	各コマに おける 授業予定	知覚検査				
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	感覚の種類が説明できる		教科書	予習: 感覚の種類につ いて	
	各コマに おける 授業予定	知覚検査				
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	感覚検査を体験する		教科書	予習: 検査方法につ いて	
	各コマに おける 授業予定	知覚検査				
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	感覚検査・判定ができる		教科書	予習: 検査方法・判定基 準について	
	各コマに おける 授業予定	知覚検査				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	反射検査の意味がわかる	教科書	予習:伝道路・反射の種類について
	各コマにおける授業予定	反射		
第7回	授業を通じての到達目標	反射検査と障害をリンクできる	教科書	予習:検査方法について
	各コマにおける授業予定	反射		
第8回	授業を通じての到達目標	筋緊張の種類を説明できる	教科書	予習:筋緊張のついて
	各コマにおける授業予定	筋緊張検査		
第9回	授業を通じての到達目標	筋緊張検査を実施できる	教科書	予習:検査方法について
	各コマにおける授業予定	筋緊張検査		
第10回	授業を通じての到達目標	協調性について説明できる	教科書	予習:小脳性とパーキンソニズム
	各コマにおける授業予定	協調性検査		
第11回	授業を通じての到達目標	協調性の検査ができる	教科書	予習:検査方法について
	各コマにおける授業予定	協調性検査		
第12回	授業を通じての到達目標	バランス検査ができる	教科書	予習:バランスとは
	各コマにおける授業予定	バランス検査		
第13回	授業を通じての到達目標	リスク管理した上でバランス検査ができる	教科書	予習:検査方法について
	各コマにおける授業予定	バランス検査		
第14回	授業を通じての到達目標	テスト概要がわかる	教科書	予習:片麻痺の運動障害について
	各コマにおける授業予定	Brunnstrom test		
第15回	授業を通じての到達目標	教科書を見ながら実施できる	教科書	予習:片麻痺の運動障害について
	各コマにおける授業予定	Brunnstrom test		